

上半期の注目調査テーマを、発表いたします！

2023年上半期 SVPリサーチテーマ・トップ10

2023年上半期は、新型コロナの「5類」移行に伴う生活様式の変容、インバウンドの急回復、植田日銀総裁就任、G7広島サミット開催といった動きの中、WBC・侍ジャパンの全勝優勝という明るいニュースもありました。足元では、円安傾向と日経平均株価上昇、海外では、ウクライナ情勢や米中間対立の緊張、半導体・EV用電池のサプライチェーン再構築に向けた動きが活発化する一方、「ChatGPT」などの生成AIが注目を集めています。今回は、SVPジャパンのクイックリサーチでご依頼をいただきました、調査テーマのトップ10を、発表いたします。

<2023年上半期の主な動向>

| 月 | 国内 | 海外 |
|----|---|---|
| 1月 | 6日:2022年国内新車販売台数(軽自動車含)が45年ぶりの低水準 19日:2022年の貿易赤字(暦年速報)が約20兆円と過去最大に 26日:トヨタの新社長に佐藤氏が就任、豊田社長は会長に 27日:政府が新型コロナの「5類」移行(5/8~)を正式発表 30日:日産自動車と仏ルノーが新たなアライアンスで合意 | 5日:Amazon(米)が従業員1.8万人のリストラを発表 17日:中国の2022年末の総人口が61年ぶりに減少 19日:仏で年金支給開始64歳~の改革案反対で100万人超のデモ 23日:Microsoft(米)が「ChatGPT」のOpenAIに投資 25日:米独が、ウクライナに戦車供与を表明 |
| 2月 | 7日:三菱重工が国産ジェット機事業から撤退 10日:政府がマスク着用を個人判断とする(3/13~)新指針を発表 10日:普通国債発行残高が、2022年末時点で初の1,000兆円超え 28日:国内の出生数が1899年以降初めて、80万人を下回る 28日:原子力基本法改正案が閣議決定、初めて「国の責務」を明記 | 4日:米軍、中国の気球を撃墜 6日:トルコ・シリア大地震が発生 6日:Google(米)が会話型AI「Bard」を発表、「ChatGPT」に対抗 20日:バイデン米大統領がウクライナを電撃訪問 24日:ウクライナ侵攻から1年、国連総会で平和を求める決議案採択 |
| 3月 | 22日:WBS・日本代表が3大会ぶりに優勝 22日:2023年の公示地価、全用途の平均で2年連続上昇 23日:東芝、投資ファンドの提案受入れを正式発表、非上場化へ 27日:量子コンピュータの国産初号機が本格稼働開始 31日:政府が「次元の異なる少子化対策」のたたき台を発表 | 10日:シリコンバレーバンク(米)の経営破綻を端に、欧米で金融不安 16日:韓国・尹(ユン)大統領が初来日、日韓首脳会談開催 20日:中国・習近平国家主席がロシアを訪問、プーチン大統領と会談 21日:岸田首相がウクライナを電撃訪問 25日:EUが2035年以降ガソリン車販売を条件付容認 |
| 4月 | 3日:こども家庭庁が発足 10日:日銀・植田新総裁が就任会見、金融緩和を当面継続 26日:日本の総人口が2056年にも1億人を割る見通し 27日:日本発のドローン運航管理システムに関する国際規格が発行 28日:今後の原子力政策の方向性と行動指針を決定 | 4日:フィンランドがNATOに正式加盟 5日:WTO・2023年の世界貿易量を前年比1.7%増に上方修正 13日:IMF・2023年世界経済成長率を金融不安を受け下方修正 15日:ドイツで、脱原発が完了 21日:スーダンで内戦激化、邦人退避で自衛隊機派遣 |
| 5月 | 17日:4月の訪日外客数が個人旅行再開以降最高の200万人に迫る 17日:2023年1~3月期のGDP速報値は1.6%増 17日:日経平均株価の終値が、2021年9月以来の3万円超え 19日:G7・広島サミットが開幕、ゼレンスキー大統領が来日 30日:日野自動車が三菱ふそうトラック・バスと経営統合で合意 | 1日:米国で2023年3月以降、3行目の銀行が経営破綻 1日:世界銀行・2023年一次産品価格指数は急落し前年比2割減 5日:WHOが新型コロナ「緊急事態宣言」終了を発表 6日:英国・チャールズ国王戴冠式 25日:世界銀行・カーボンプライシング政策、世界で950億ドルと推計 |
| 6月 | 2日:改正マイナンバー法成立、2024年秋に紙の健康保険証を廃止 5日:日経平均株価終値が、33年ぶりに3万2,000円台を回復 9日:政府が「統合イノベーション戦略2023」を閣議決定 13日:政府が「こども未来戦略方針」を閣議決定 16日:政府が「骨太の方針」を閣議決定 | 1日:米国債務上限引き上げ法案可決、債務不履行回避 5日:Apple(米)が、初の空間コンピュータ「Vision Pro」を発表 6日:WSTSが2023年の世界半導体市場は前年比10.3%減と発表 6日:世界銀行・2023年の世界経済成長率は2.1%と発表 14日:EU・欧州議会がAI規制法案を採択 |

※省庁発表資料、各種媒体記事等をもとにSVPジャパン作成。 ※WSTS:世界半導体統計

上記トピックスや関連情報に関する調査をご希望の際は、クイックリサーチを承りますので、お申し付けください。SVPにご依頼いただきました、リサーチテーマの「トップ10」について、次ページの通り、ご案内いたします。



| 順位 | 調査テーマ |
|-----|--|
| 1位 | <p>EV、次世代EV用電池・材料の市場と開発動向、企業の提携動向</p> <p>電気自動車(EV)本体に加え、モーター等の部品、全個体電池などの次世代型を含めた車載用電池・材料の市場と開発動向をはじめ、企業の提携・出資動向、電池の供給関係、インフラ整備状況、国内外の自動車メーカーのEV化目標や地域別動向を含め、様々な切り口で、多くのご依頼をいただきました。</p> |
| 2位 | <p>次世代型太陽電池と部品・材料市場と技術動向</p> <p>ペロブスカイト太陽電池をはじめ、次世代型の太陽電池と材料の市場動向と開発動向、国内外の参入企業の動向が注目を集めました。方式別の特徴や課題・技術動向については、文献・特許検索を含めた情報や、有料調査資料のご案内も含めて、ご報告しております。</p> |
| 3位 | <p>カーボンニュートラル(脱炭素)の取り組み状況と規制動向</p> <p>国内外の地域別、業種別、企業別の、カーボンニュートラルの取り組み状況と、規制の動向、関連サービス、脱炭素を実現するための技術や材料の開発動向、企業が公表するロードマップ・目標値の収集など、幅広い切り口で、リサーチのご依頼をいただきました。</p> |
| 4位 | <p>「ChatGPT」等生成AIの利活用状況と規制動向</p> <p>2022年11月にOpenAI社(米)が公開したAIチャットボット「ChatGPT」をはじめとした、生成AIの、国内外における政府機関・企業・自治体・教育及び学術機関における利用状況とリスク、規制動向や関連サービスの動向に、注目が集まりました。</p> |
| 5位 | <p>パワー半導体および材料市場と半導体供給網の整備状況</p> <p>脱炭素・EVの普及拡大に欠かせない、電力制御を行う次世代パワー半導体をはじめ、SiC、GaNなどの化合物半導体材料と、新規技術の開発が進んでいます。加えて、国策としての半導体サプライチェーンの強化、各国との連携、新規の国内工場建設プロジェクトなど、世界的な動向について、ご依頼をいただきました。</p> |
| 6位 | <p>フードテック(完全栄養食・代替肉・昆虫食)等の市場と開発動向</p> |
| 7位 | <p>先端医療(遺伝子治療・再生医療)関連市場と先進技術の動向</p> |
| 8位 | <p>バイオマスプラスチックと環境配慮型パッケージの市場動向</p> |
| 9位 | <p>ロボット・ロボットアーム/ロボットハンドの市場と技術動向</p> |
| 10位 | <p>Z世代の消費意識とライフスタイルのトレンド</p> |

今回は、「SVPジャパン配信コンテンツ」について、ご案内いたします。弊社サービスの詳細等につきましては、左下のボタンより、ご参照・お問い合わせいただければ幸いです。



—SVP JAPANのサービスについて—

2営業日以内に調査結果をご報告

クイックリサーチ

[詳しくはこちら](#)

カスタムメイドのリサーチサービス

プロジェクトリサーチ

[詳しくはこちら](#)



—各種お問い合わせ—

資料ダウンロード

[こちらをクリック](#)



お問い合わせ

[こちらをクリック](#)



まずはお電話でもお気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-3249-0771



資料ダウンロード
[こちらをクリック](#)

お問い合わせ
[こちらをクリック](#)

© SVP Japan All rights reserved.

s'il vous plaît
SVP JAPAN